

山口県感染症発生週報

(第34週:平成24年8月20日～8月26日)

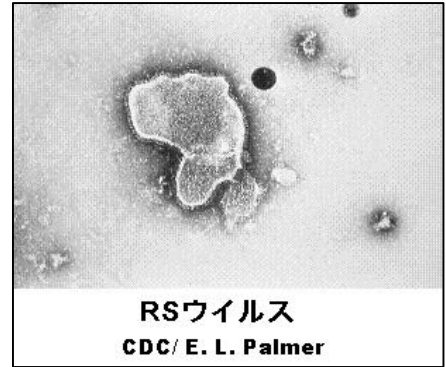
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第30週追加:1例(周南)。第33週追加:2例(岩国、周南)。第34週:3例(いずれも周南)。

【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第34週:2例(下関 O157;VT2、山口 O157;VT1VT2)。



RSウイルス
CDC/ E. L. Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆RSウイルス感染症: 今週周南で急増しています。また、下関、柳井、岩国からも報告が続いています。
- ◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 急増しています。過去4年間の同時期と比較して多くみられます。
- ◆ヘルパンギーナ: 先週とほぼ横ばい状況です。
- ◆百日咳: 6例報告がありました。特に下関からの報告が続いています。
- ◆流行性耳下腺炎: 萩は警報レベルが続いています。また、防府からの報告も目立ちます。【警報レベル=萩(3週目)】※
- ◆マイコプラズマ肺炎: 報告数は多く10例でした。全国的にも例年と比較して多い状況が続いています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/iyoho/report2012/keihotvuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	32週	33週	34週	疾患名	32週	33週	34週
インフルエンザ	0	3	0	百日咳	1	4	6
RSウイルス感染症	25	21	28	ヘルパンギーナ	81	41	52
咽頭結膜熱	11	16	5	流行性耳下腺炎	35	18	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	80	30	115	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	192	76	170	流行性角結膜炎	2	3	5
水痘	25	12	29	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	6	7	2	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	9	10	12	マイコプラズマ肺炎	4	11	10
突発性発しん	53	48	49	無菌性髄膜炎	1	1	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	12	1	2	13	0	0	0	0	0	28
咽頭結膜熱	2	1	0	1	0	0	1	0	0	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	19	1	24	1	38	4	0	9	115
感染性胃腸炎	23	19	1	41	15	41	27	3	0	170
水痘	6	12	1	3	1	3	3	0	0	29
手足口病	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
伝染性紅斑	1	0	0	7	2	0	0	0	2	12
突発性発しん	9	1	3	7	0	15	8	2	4	49
百日咳	4	0	0	1	0	0	0	0	1	6
ヘルパンギーナ	16	2	3	8	2	1	6	10	4	52
流行性耳下腺炎	4	0	1	3	6	1	0	0	8	23
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	2	0	1	1	1	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	6	0	1	0	2	0	10
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0